

松田町第5次総合計画 「新まちづくりアクションプログラム」を策定

新たなまちづくり！ 定住化へ！ アクション！！

町では、平成26年度で第5次総合計画の前期間が終了することから、このたび、平成27～30年度までの4年間で町が計画的に取り組むべく具体的な事業を位置付けた「新まちづくりアクションプログラム」(以下、「新プログラム」)を策定しました。

策定にあたっては、町民のみなさんのご意見を広くお聴きし、総合計画審議会において議論を重ねた計画案を、3月の松田町議会に説明・報告しました。本号では、この「新プログラム」の概要などについてお知らせします。

【問合せ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222



昨年のチャレンジデーの様子(松田幼稚園)

◆「新プログラム」とは「選択と集中」による重点的なまちづくり

平成23年度を初年度として策定した「松田町第5次総合計画」は4年が過ぎ、見直しの時期になりました。そのため、『緑と清流のまち、ゆとりを楽しく暮らしらめく松田』をめざす基本構想(平成30年度目標)を踏まえつつ、「新プログラム」を策定しました。

策定にあたっては、その成果や今後に引き継がれるもの、新たに取り組みが求められる問題・課題などについて整理をしてみました。特に、後期の計画期間(平成27～30年度)の中で取り組むべき事業や基本構想の達成のための重点施策を明らかにし、持続可能なまちづくりや定住化を実現するための重点的戦略事業を取りまとめました。これは、町民から求められている計画の「実現性」や「確実性」に配慮するため、まちづくりにおける「選択と集中」を明らかにしたものです。さらに、町民同士または町民と行政による「協働」のまちづくりを展開していく際の指針としての役割も期待して、「新プログラム」を策定しました。

このようなプロセスを経た「新プログラム」は、今後4年間の行政分野別の施策の方針、方向及び事業などを体系的に整理したもので、今後のまちづくりを進める「行政計画」の基本となります。

◆全戸アンケートや地域別、分野別の座談会を開催。多くのご意見をいただきました

この「新プログラム」の策定にあたっては、町民の皆さんの意向を積極的に反映していくため、町民アンケート調査やまちづくり座談会などを実施してきました。町民アンケート調査は町内の全世帯を対象とし、1794世帯からの回答があり、回答率は40・3%に上りました。昨年、本紙5月号で概要をご案内したとおり「住みやすい町」とされた回答が約7割となった一方で、「住みにくい」との回答の中には、買い物をする店が無いなどの理由をはじめとご意見をたくさんいただきました。また、町内15カ所で開催したまちづくり座談会、さまざまな分野別に開催した座談会では、ワークショップ形式も採り入れ、将来に向けた活発な議論が繰り広げられました。このなかで特に共通したご意見として



昨年の座談会の様子。

◆平成26年度までの4年間の検証と課題の整理

「新プログラム」を策定する前段として、平成23～26年度までの4年間の計画期間に位置づ

は、買い物支援策、駅前周辺の整備、定住化促進に向けた取り組みなどが挙げられます。さらに、最終的な計画案に関するパブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見が寄せられましたので、これらについても参考として記載内容などを見直しました。

けた247事業の取り組み状況について検証し、3段階で評価しました。目標を達成した「完了(達成)」が182事業(74・1%)、目標が達成されずに引き続き、検討中、もしくは実施に向け準備中の「調整(検討)」が61事業(24・7%)、着手できなかった「未着手」が3事業(1・2%)となりました。

このように引き続き取り組んでいくべき施策がまだ残されており、検証の中で今後とも対応が強く求められる人口減少や少子化、高齢化などの諸課題に計画的に取り組むことが求められます。このうち、特に継続的に着実な対応が必要である主要課題を整理すると次のとおりです。

○暮らしやすい魅力あるまちづくりに向けて(人口減と住み続けるまちづくり)

今後進行が予想される人口減少化社会の中であっても、暮らしやすい魅力あるまちづくりを推進するために、身近な生活の場を「協働」により計画的、かつ着実に整備し、町民が「住み続ける」「愛着と誇り」を持

るまちづくりに向けた地域での主体的な取り組みを「創意工夫」によって進める必要があります。

○駅周辺整備の考え方と進め方

現在まで小田急新松田駅、JR松田駅周辺の整備については、様々な取り組みが行われてきました。今後の具体的な整備のあり方については、関係権利者を軸とした地域での調査・調整・議論を着実に進め、必要に応じて

○交通網の充実

観光拠点や駅周辺、日常生活区域等における交通網の充実が、高齢化社会の進展への対策、観光振興、交流人口の増大等の観点から必要となります。また、広域的な交通機能が充実していく中で、時間軸を持った継続的な対応が必要と



新松田駅北口の様子。

【次ページ右上へ続く】

◆5つのプロジェクトと重点事業(抜粋)

1. 骨格形成プロジェクト 8事業

- ◎新松田駅南口駅前広場等の効率的・効果的な整備
- ◎新松田駅北口周辺整備のあり方についての検討、調査・計画
- ◎地域懇話会等の定期的な開催
- ◎広報紙・ホームページ等を通じて町民の意見や声を求める場の充実
- ◎効率的な仕事の進め方の導入 ほか

2. 住まいづくりプロジェクト 3事業

- ◎町有地等の利活用の推進
- ◎民間住宅の建設促進、良好な住宅・宅地開発の誘導
- ◎空家空き地等の利活用

3. うるおいづくりプロジェクト 14事業

- ◎新たな再生可能エネルギーの導入に向けた検討
- ◎特産品開発事業
- ◎新松田駅前等の基盤整備事業に伴う商店街の活性化についての検討
- ◎移動販売業者への経営支援
- ◎松田ブランド認定事業
- ◎県西地域の活性化
- ◎国際交流事業の推進 ほか

4. 安全安心づくりプロジェクト 13事業

- ◎自主防災組織の育成・支援
- ◎健康増進計画に基づく健康づくり事業の展開
- ◎地域主体の「たすけあい」「ささえあい」の体制づくり
- ◎地域支援事業の充実
- ◎子育て支援センターやファミリー・サポートセンター事業の充実
- ◎子育て世帯支援事業 ほか

5. まなびやづくりプロジェクト 6事業

- ◎教育のあり方の検討
- ◎学校施設整備事業
- ◎学校ICT環境整備事業
- ◎英語教育の充実
- ◎ボランティア等指導者の発掘、サークル団体等育成・支援
- ◎文化活動団体の育成